

機構資料 2 総括表

中期計画の項目	No.	第1期中期目標期間					第2期(R1まで)				R1 自己評価	評価理由		
		H22 評価	H23 評価	H24 評価	H25 評価	H26 評価	H27 評価	H28 評価	H29 評価	H30 評価				
		1 医療の提供												
(1) 政策医療の提供	① 県立中央病院	ア 救命救急医療	1	A	A	S	S	S	S	S	S	S	S	高度救命救急センターの指定（H31年4月・広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒等）、二次救急処置室の再整備（R2年3月）、高度救命救急センターの患者数・手術件数は過去最多、二次救急当番日数は過去最多 →総合的に特に優れており前年度同様「S」
		イ 総合周産期母子医療	2	A	A	A	A	A	A	S	S	S	S	胎児超音波スクリーニング検査数は過去最多、M F I C U 延べ入院患者数は過去最多、産婦検診の検査者数は過去最多、NICUの病院間搬送（医師等同乗）体制の継続 →総合的に特に優れており前年度同様「S」
		ウ がん医療	3	A	A	A	A	S	S	S	S	S	S	専門的ながん医療の提供（手術、化学療法及び放射線療法の効果的な組み合わせ、内科系と外科系の連携等）、ゲノム解析件数は大幅増で過去最多（検査の迅速化）、がんゲノム遺伝子パネル検査の実施（R1年6月保険収載）、通院加療がんセンター患者数は過去最多（新薬による治療拡大等）、低侵襲性手術支援ロボットの活用（手術件数の増）→総合的に特に優れており前年度同様「S」
		エ 難病（特定疾患）医療	4	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	県内で2番目に多く患者を診療（潰瘍性大腸炎、クローン病、突発性拡張型心筋症は、県内最多）、臨床調査個人票作成合計件数は過去最多 →積極的に取り組んでおり1ランクアップ「A」
		オ エイズ医療	5	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	エイズ治療中核拠点病院、H I V 感染の確認患者数は過去最多、歯科医師との医療連携（医療従事者向け研修会、出前講座） →積極的に取り組んでおり1ランクアップ「A」
		カ 感染症医療	6	B	B	B	A→B	A	A	A	A	A	A	第一類感染症病床の確保、結核患者の受入は2期最多、陰圧個室入院治療患者は過去最多、感染対策強化（感染対策室に専従看護師2名増員）、新型コロナウイルス患者の受入 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」
	② 県立北病院	ア 精神科救急・急性期医療	7	B	B	B	A	S	S	S	S	S	S	精神科救急医療体制の24時間化に対応（H27以降）、総合的で一貫した医療の提供（治療、退院促進、退院後リハ）、精神科救急受入外来患者数は過去最多→総合的に特に優れており前年度同様「S」
		イ 児童思春期精神科医療	8	B	B	B	A	A	A	S	S	S	S	高度で専門的な診療の実施（常勤専門医2名、10対1看護、専任の精神保健福祉士等）、延べ入院患者数が高水準を維持する中で平均在院日数は大幅短縮し2期最短、延べ外来患者数は過去最多 →総合的に特に優れており前年度同様「S」
		ウ 心神喪失者等医療観察法に基づく医療	9	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	多職種治療チームによる治療体制・通院患者支援体制の継続 →優れており前年度同様「A」
		エ 重度・慢性入院患者への医療	10							B	A	A	A	クロザピンによる治療患者数は過去最多（人口10万人当たり使用患者数は全国上位）、クロザピン副作用モニタリングシステムの提案 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」
		オ 重症通院患者への医療	11							B	A	A	A	多職種治療チームによる適切な医療の提供（症状・生活の変化等を随時把握し速やかに診療及び生活支援する仕組み）、重症通院患者支援推進会議の実施、訪問看護ステーションの開所（H31年4月）、デイケア新治療プログラムを開始し（R1）就労・就学に寄与 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」
(2) 質の高い医療の提供	① 医療従事者の育成、確保及び定着	12	A	A	S	S	S	S	S	S	S	S	優れた専門医の採用（R2:血管内治療の専門医）、総合研修プログラムのマッチ率94.4%（R2:17名）、医療事務作業補助者・看護補助者の拡充による業務負担軽減 →総合的に特に優れており前年度同様「S」	
	② 7対1看護体制への柔軟な対応	13	B	A	A	A	A	A	S	S	S	S	7対1看護体制の継続、看護師総数は過去最多、看護師確保対策の強化（R1にキャリアサポートルームの設置：専従2名）、正規の離職率は過去最も低い→総合的に特に優れており前年度同様「S」	
	③ 医療の標準化と最適な医療の提供 (イ 診断群分類包括評価(DPC)の導入) 14に統合	14	B	B	B	B	B	S	S	S	S	S	D P C 特定病院群の地位を維持、内視鏡下手術件数は過去最多、精神身体合併症病棟の開設（R2年11月）、病院機能評価の認定（R2年7月）、ISO15189（R1年11月）の取得 →総合的に特に優れており前年度同様「S」	
	④ 高度医療機器の計画的な更新・整備	15	B	B	B	B	A	S	A	A	A	A	ISO15189取得のための検査機器（R1）、年々増加する血管修復手術向けのX線装置（R1）、プロポーザル方式の採用（2,000万削減）、保守契約も含めた調達（440万削減）→積極的に取り組んでおり前年度同様「A」	
	⑤ 病院施設の計画的な修繕・改善	16						B	B	B	B	B		
(3) 県民に信頼される医療の提供	① 医療安全対策の推進 (イ 情報の共有化) 17に統合	17	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	医療安全管理室に専従看護師を2名増員（R1）、医療安全研修会参加率は過去最高、院内感染対策の強化 →積極的に取り組んでおり1ランクアップ「A」	
	② 医療倫理の確立	18	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		
	③ 患者・家族との信頼・協力関係の構築	19	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	入退院センター面談室の増設・全診療科に対象拡大（H31年4月）、在宅への退院支援件数は過去最多、保健師・社会福祉士・看護師による巡回指導 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」	
	④ 医薬品の安心、安全な提供	20	B	B	B	B	A	S	A→B	B→C	B	B	服薬指導回数は過去最多、持参薬鑑別回数は過去最多、全病棟に専任薬剤師の配置、向精神薬の管理にシステムを導入し在庫確認強化（R1）→積極的に取り組んでおり1ランクアップ「A」	
	⑤ 患者サービスの向上	21	A	A→B	A→B	A→B	A	A	A	A	A	A	医療コンシェルジュの配置（看護師長経験者3名・H31年4月）、病院機能評価の認定（R2年7月）、入退院センター面談室の増設・全診療科に対象拡大（H31年4月）、駐車場の増設（68台分）、電話交換手の増員（H31年4月）、北病院完全個室面接室の増設（R1） →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」	
	⑥ 診療情報の適切な管理	22	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	退院時要約記載の徹底（R1）、診療録スキャン業務を内製化し（H30）診療録管理体制加算取得（R1年6月）、電子カルテシステムの更新に向けた公告（R2年3月）→積極的に取り組んでおり前年度同様「A」	

県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

中期計画の項目			No.	第1期中期目標期間					第2期(R1まで)				R1 自己評価	評価理由	
				H22 評価	H23 評価	H24 評価	H25 評価	H26 評価	H27 評価	H28 評価	H29 評価	H30 評価			
(⑥診療支援システムの充実) 22に統合				C	B	B	A	B							
2 医療に関する調査及び研究			23	A	A	A	A	S	S	S	S	S	S	S	臨床試験管理センターで事務を一元管理、治験の件数は過去最多(産科・眼科は初の治験開始)、県立大学との共同研究、図書室改修・Wi-Fi導入(R1年11月)、医師主導治験に係る業務手順書の作成(R1) →総合的に特に優れており前年度同様「S」
3 医療に関する技術者の研修	(1) 医療従事者の研修の充実		24	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	研究研修予算の増額(認定看護師の増、学会等での受賞)、医療機器安全研修会の参加者過去最多 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」
	(2) 県内の医療水準の向上		25	B	B	B	B	B	B	B	A→B	B	B	B	
4 医療に関する地域への支援	(1) 地域医療機関との協力体制の強化		26	B	B	B	B	A	S	S	S	S	S	S	紹介率は過去最高、逆紹介率も高水準維持、入退院センター面談室の増設・全診療科に対象拡大(H31年4月)、連携登録医向け研修会の開催 →総合的に特に優れており前年度同様「S」
	(2) 地域医療への支援		27	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
	(3) 地域社会への協力		28	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	救急救命士の各種実習(受講人数は過去最多)、看護師養成機関や高校・市町村等への講師派遣、捜査機関等からの調査に協力 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」
5 災害時における医療救護			29	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	DPA T派遣協定に基づく隊員の研修参加、大規模災害時対応訓練の実施、DMATの確保、DMAT隊員を長野県及びダイヤモンドプリンセス号に派遣 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」
業務運営の改善及び効率化並びに財務状況に関する事項	1 医療環境の変化に対応できる運営体制の構築		30	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	病院会議等を通じた病院全体の情報交換・共通認識の醸成・業務改善の意識付け、がんゲノム医療提供体制に向けたISO15189(臨床検査)の取得(R1)、長期課題を次期中期計画に反映(R2年3月認可) →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」
	2 効率的な業務運営の実現		31	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	契約等監視委員会の設置(R2年3月)、保守料を含めたトータル費用による入札の拡大、放射線機器等保守の一括契約による削減 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」
	3 経営基盤を安定化するための収入の確保、費用の節減		32	A	B	B	A→B	A	S	S	S	S	S	S	診療材料のベンチマークシステムを活用した経費削減、診療材料の共同購入組織加盟による経費の大幅削減、後発医薬品の積極的な採用(使用割合及び購入額は過去最高)、流量制御機器設置による水道料削減(R1) →総合的に特に優れており前年度同様「S」
	4 事務部門の専門性の向上		33	B	B	B	A→B	A	A	A	A	A	A	A	職種横断的な研修の実施、クリニカルパス分析の専門部署の設置(R2年4月)、日本医療マネジメント学会等全国的な学会へプロパー職員を派遣 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」
	5 職員の経営参画意識の向上		34	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	病院会議による経営情報の周知、特定病院群の比較ができる経営分析ソフトの導入準備(R1)、QIプロジェクト(医療の質の評価等)に参加(R1)、通年型職員提案制度 →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」
	6 職場環境の整備		35	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	健康管理室の新設(H31年4月)、夏季休暇取得可能時期の拡充(R1より5月~11月)、人事評価制度の運用開始(H30年10月) →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」
	7 予算、収支計画、資金計画、短期借入金の限度額		36	S	S	S	S→A	S	S	S	S	S	S	S	経常利益は、計画を3億1千7百万円上回る14億2千6百万円を確保→計画を大幅に上回っており前年度同様「S」
その他業務運営に関する事項	1 保健医療行政への協力		37	B	B	B	B	A	S	S	S	S	S	S	県の保健医療の重要政策に協力(がん診療連携拠点病院・救命救急センター・総合周産期母子医療センター・難病医療拠点病院等)、二次救急当番日数の増、精神科救急24時間対応、新型コロナウイルス患者の受入 →総合的に特に優れており前年度同様「S」
	2 法令・社会規範の遵守		38	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
	3 積極的な情報公開		39	B	B	B	B	B	B	B	A→B	B	B	B	
	4 山梨県地方独立行政法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則で定める事項(施設及び設備に関する計画、人事に関する計画、積立金の処分に関する計画)		40	B	B	B	A	A	A	A	S→A	S→A	S→A	S→A	必要な施設及び設備を整備、職員数は前年度と比べて5.3%増(常勤医師12名増・看護職55名増)、過去最多1,583人となり政策医療の確実な実施や質の高い医療の提供に向け適切な人事管理を実施、人材確保に繋がる新専門医制度に係る専門研修プログラム(R2:22名採用) →積極的に取り組んでおり前年度同様「A」

	S	A	B	C	D	計
H22	2	11	27	1	0	41
H23	2	9	30	0	0	41
H24	4	8	29	0	0	41
H25	4	14	23	0	0	41
H26	8	18	15	0	0	41
H27	12	15	13	0	0	40
H28	13	16	11	0	0	40
H29	13	17	9	1	0	40
H30	13	17	10	0	0	40
R1	13	21	6	0	0	40
増減	0	4	△4	0	0	0

第1期中期目標期間

↓

第2期中期目標期間(R1まで)

↓

評価S…当該事業年度における中期計画の実施状況が特に優れている
 評価A…当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている
 評価B…当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である
 評価C…当該事業年度における中期計画の実施状況が劣っている
 評価D…当該事業年度における中期計画の実施状況が著しく劣っており、大幅な改善が必要